

平成25年度 県境発・環境再生啓発事業（計画）

1 事業の概要

県境不法投棄事案に係る原状回復事業の状況を公開し、事業への理解を促進するとともに、本事業で得た貴重な経験等を次世代に継承するための情報発信など、環境再生計画に掲げた施策の具体化に向けた取組みを行う。

2 事業内容

（1）環境学習の実施（予定一覧：別紙1）

①出前講座（対象：小・中学生、教職員及び住民）

県職員が出向き、県境不法投棄事案の概要や取組みについて学んでもらう。

②不法投棄現場見学会（対象：田子町及び処理施設所在市町村の小・中学生）

県境不法投棄現場を見学し、事業への理解を深めてもらう。

③処理施設見学会（対象：田子町及び処理施設所在市町村の小中学生）

県境不法投棄産業廃棄物の処理施設を見学し、撤去した廃棄物の処理方法やリサイクル等について学んでもらう。

④不法投棄現場県民見学会

原状回復事業の状況について広く県民に理解を深めてもらうため、処理施設のある青森、八戸、むつ・東通の各ルートからの現場見学会を実施する。

（2）記録映像の蓄積・情報発信

①記録映像の蓄積

環境学習の教材や、後世に伝える資料として活用するため、不法投棄現場や県の取組みの状況等についての記録映像を蓄積する。

内容：四季毎の現場の様子のほか、環境モニタリング・環境学習の様子等

②水処理施設を活用した資料展示・公開

不法投棄現場の状況や原状回復事業の内容をわかりやすく紹介する写真パネルなどの展示素材を作成し、水処理施設内のスペースを活用して順次公開していく。

③アーカイブの整備

原状回復事業終了後においても、本事業の経験、資料等を貴重な財産として次世代に引き継ぐため、ホームページを通じて情報発信していくこととし、「県境不法投棄事案アーカイブ」として公開するためのデータ作成を進める。



(3) 地域振興の促進（別紙2）



東急建設(株)では、現場跡地の利活用提案である、バイオマスプラントによる水素製造と熱・電気を利用した施設園芸事業について、立地可能性調査を行ってきたところですが、当該プラントは実用化に課題があるほか、汚染地下水が残留する現場跡地で栽培された作物については、市場の理解が得られない可能性が大きいことを考慮し、実現は難しいと判断したところです。

同社ではこれを踏まえ、新たに地域のエネルギー資源（家畜ふん尿、食品残さ）を活用したバイオマス発電と施設で発生する消化液を利用した作物栽培事業について、関係事業者及び田子町とともに立地可能性調査を行っています。

当該事業も国の補助金交付（地域バイオマス産業化推進事業）を前提としていますが、エネルギー資源（38 t/日）の確保と消化液（35 t/日）の有効利用に目途が付きしだい、近く見込まれる国の公募に、発電事業者が当該事業を応募する予定であるとしています。

同社では、立地条件に恵まれない現場跡地において、積極的に事業化の実現に取り組んでいるところであり、県としては、今後も地元との調整を行うとともに、事業立地に係る既存の制度について情報提供し、その活用について関係部局との連携・調整を行っていきます。

(4) 自然再生の推進（別紙3）



平成26年度から、不法投棄によって失われた恵み豊かな大地への思いを馳せながら、緑あふれる豊かな自然環境の再生をめざすため、試験植樹モニタリング調査の結果及び跡地整備後に見込まれる現場の地形等を踏まえ、関係部局、田子町及び森林関係実務者等とともに植栽手法等を検討し、「森林整備計画」を作成します。

<森林整備の基本方針>

- ① 整備区域：「地域振興」の取組みでの利用及び勾配等により植栽が不適当と見込まれる範囲を除いた区域とします。
- ② 整備時期：廃棄物等撤去完了後の跡地整形、雨水排水路等の施工完了予定の時期から、平成26・27年度のそれぞれ春と秋の四期とします。
- ③ 客土：県が行う建設工事において発生する土壌により、跡地整形と植栽基盤の造成を行います。
- ④ その他：民間事業者の自主的な森林づくり活動である「企業の森」を積極的に誘致するとともに、官民協働による植樹祭の実施に取り組みます。

平成25年度環境学習計画

① 出前講座（小・中学生、教職員及び一般対象） ※申込に応じ、随時実施予定。

実施日	学校名	学年	人数	備考
6月24日(月)	田子町立上郷小学校	3~4	13	
6月27日(木)	田子町立田子小学校	4	38	
7月11日(木)	田子町立田子中学校	1~3	164	
9月2日(月)	八戸市立城下小学校	6	40	
9月4日(水)	八戸市立江陽小学校	4	54	
9月5日(木)	八戸市立第三中学校	1	86	
9月10日(火)	八戸市立美保野小学校	4	3	
9月24日(火)	青森市立造道小学校	4	85	
10月17日(木)	八戸市立白山台小学校	4	162	
11月7日(木)	八戸市立大館中学校	3	145	
合計	10校		790	

② 不法投棄現場見学会（田子町及び処理施設所在市町村の小・中学生を対象）

実施日	学校名	学年	人数	備考
7月1日(月)	田子町立上郷小学校	3~4	13	
7月10日(水)	田子町立田子小学校	4	38	
7月16日(火)	田子町立清水頭小学校	3~6	19	
7月17日(水)	八戸市立金浜小学校	4~6	6	
7月18日(木)	三戸町立斗川小学校	4~5	16	
7月30日(火)	八戸市立大館中学校	1~3	20	希望者が参加
9月5日(木)	八戸市立第三中学校	1	86	
合計	7校		198	

③ 処理施設見学会（田子町及び処理施設所在市町村の小学生を対象）

実施日	学校名	学年	人数	見学先
6月10日(月)	八戸市立旭ヶ丘小学校	4	72	八戸セメント
6月11日(火)	青森市立千刈小学校	4	43	青森RER
6月28日(金)	八戸市立江陽小学校	4	54	八戸セメント
7月17日(水)	八戸市立金浜小学校	4~6	6	奥羽グリーンテクノロジー
8月26日(月)	八戸市立大久喜小学校	3~4	20	奥羽グリーンテクノロジー
8月27日(火)	八戸市立多賀台小学校	4	24	奥羽グリーンテクノロジー
9月26日(木)	田子町立田子小学校	4	38	八戸セメント
9月30日(月)	八戸市立城下小学校	6	40	八戸セメント
10月2日(水)	田子町立上郷小学校	3~4	13	八戸セメント
10月15日(火)	八戸市立鯨小学校	4	73	八戸セメント
10月22日(火)	八戸市立種差小学校	4~5	12	八戸セメント
11月8日(金)	八戸市立白山台小学校	4	162	八戸セメント
合計	12校		557	

④ 県民現場見学会

青森ルート及び八戸ルート 9月上旬
むつルート 9月下旬

環境学習の実施状況

「県境再生未来へのメッセージ推進事業」(平成16年度～17年度)

	平成16年度	平成17年度
現場見学(小・中・高)	5校 409名	7校 482名
学習発表会(小・中・高)	5校 251名	6校 275名
〃 (一般来場者)	20名	30名

「県境再生総合啓発プログラム事業」(平成18年度～20年度)

	平成18年度	平成19年度	平成20年度
出前授業(小・中学校)	2校 189名	2校 93名	2校 60名
現場見学会(小・中学校)	4校 148名	4校 130名	3校 124名
処理施設見学会(小学校)	3校 68名	3校 61名	2校 61名
現場見学会(一般町民)	17名	14名	19名

「次代につなぐ県境再生啓発事業」(平成21年度～22年度)

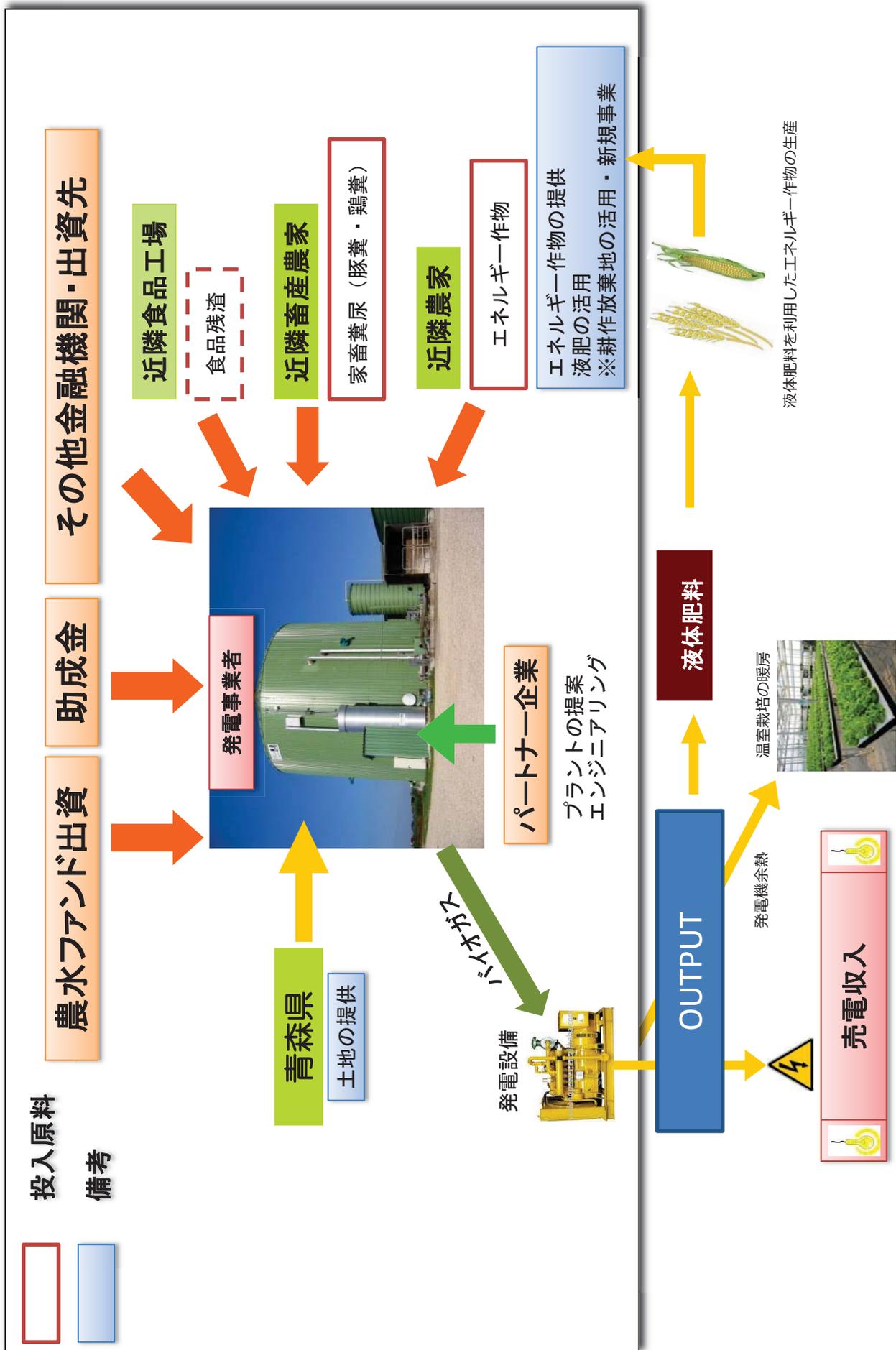
	平成21年度	平成22年度
出前講座(小・中、一般)	3校1団体 105名	5校3団体 304名
現場見学会(小・中学校)	5校 299名	4校 240名
処理施設見学会(小学校)	3校 176名	9校 530名
現場見学会(県民)	63名	137名

「県境発・環境再生啓発事業」(平成23年度～平成25年度)

	平成23年度	平成24年度
出前講座(小・中、一般)	5校 199名	6校1団体 269名
現場見学会(小・中学校)	5校 161名	4校 81名
処理施設見学会(小学校)	10校 472名	9校 342名
現場見学会(県民)	68名	58名

発電事業プロジェクト

事業スキーム



廃棄物等撤去完了後の跡地整備について（暫定）

森林整備エリア及び施設園芸エリアの整備面積、整備時期を以下に示す。

■ 植樹可能エリア

時期		面積 (㎡)
平成26年	春	7,500
	秋	19,000
	計	26,500
平成27年	春	8,500
	秋	2,300
	計	10,800
小計		37,300

■ 地域振興エリア

時期	面積 (㎡)
平成26年	9,600
平成27年	9,200
小計	18,800

■ その他

エリア名	面積 (㎡)
プラントエリア	11,200
道路その他エリア	13,700
法面緑化エリア	11,000
中央沢	4,500

合計面積	96,500㎡
------	---------

